

奇習 鬼追い



正月7日の夜、深川の熊野神社領域で県指定無形民俗文化財の「鬼追い」が行われました。

鬼追いは、仏に罪を告白し悔い改め、国家安泰や五穀成就を祈る仏教行事です。深川の鬼は、「招福除災の鬼」とされています。男鬼、女鬼、子鬼の三匹が境内の鬼堂から飛び出し、熊野神社領域を暴れまわります。鬼が暴れるほどその年は、五穀豊穣になると言われています。また、鬼が持つ「鬼の手」で叩かれた人は一年を健康に過ごせると言われており、これが「奇習」といわれる由来になっています。

ひよつとこ踊り、鬼神太鼓の奉納演奏が行われた後、午後8時から鬼追いがスタート。半鐘や空砲が激しく鳴り響く中、3匹の鬼は熊野神社領域を縦横無尽に暴れまわりました。鬼が姿を現すと、歓声と共に御幣を求めて多くの人が果敢に鬼に群がり、鬼の手で叩かれながらも御幣を手にしていました。市内から初めて参加した大森かろらさん（末吉小6年）、修羅さん（同小5年）、まこらさ

ん（同小2年）姉弟は「今年1年健康に過ごせそうです。来年も参加したいです」と笑顔で話しました。

当日は、日本テレビ「スッキリ!!」リポーターの大竹真さんが取材に来られ、鬼追いの模様が9日に放送されました。



鬼神太鼓の奉納演奏



鬼追いパレードの様子